

## 簡単操作ガイド 3-5 (II GNSS 水準 点検計算)

### メニュー画面

この画面のボタンから各機能、各シートを選択します。

### II GNSS水準 点検計算



### I 入力値クリア

メニューの「入力値クリア」をクリックして、前回入力値を消去します。

### II ジオイド・モデル更新

最初に座標系を入力します。

前回のジオイド取込時の座標系が今回と違う場合にクリックして画面の案内に従って操作します。

### III GNSS 水準ファイルから転記入力

GNSS 水準ファイルに入力データがある場合はクリックして、既知点・新点・観測データを自動入力します。

## IV 基本入力

4-1 「基本入力」をクリックし、入力1シートを選択します。(水色のセルに入力)

基本入力								前後半の基線ベクトル観測値				
点番号	点名称	緯度φ	経度λ	標高	シット高	楕円体高	セッション名	基線ベクトル m	セッション名	斜距離 観測値		
303	303	34.524251410	139.072771390	21.1170	39.9961	61.1131	319A-1	ΔX	-5768.422			
301	301	35.025008040	138.542481860	8.3330	40.5943	48.9273	319A-2	ΔY	1962.914	10132.474		
302	302	34.580278680	139.055741140	26.5050	40.0696	66.5746		ΔZ	-8095.635			
								ΔX	-5768.425			
								ΔY	1962.912	10132.477		
								ΔZ	-8095.637			
								ΔX	5216.347			
								ΔY	3909.508	7109.665		
								ΔZ	2837.748			
								ΔX	5216.365			
								ΔY	3909.487	7109.662		
								ΔZ	2837.735			
								ΔX	552.068			
								ΔY	-5872.416	7801.610		
								ΔZ	5257.899			
								ΔX	552.066			
								ΔY	-5872.406	7801.605		
								ΔZ	5257.892			
								ΔX				
								ΔY				
								ΔZ				
								ΔX				
								ΔY				
								ΔZ				
								ΔX				
								ΔY				
								ΔZ				

### 4-2 【与点データ入力】

- ・水色のセルに入力します。(他の項目も同様)
- ・通常、点番号は北方向から順番に 301 から連番を入力します。

### 4-3 【新点データ入力】

- ・通常、点番号は選点順に 1 から連番を入力します。

### 4-4 【セッション名入力】

- ・全てのセッション名を入力します。

### 4-5 【基線ベクトル・セッション名入力】

- ・全ての基線ベクトル・セッション名を入力します。

### 4-6 【本シート入力後に押ししてください】

- ・他のシートで点番のドロップダウンリストを有効にするためにクリックします。

※項目Ⅲの操作を行った場合は、4-2～4-3、4-5 の出発点・到着点・基線ベクトルは自動入力されます。

## V 重複入力

5-1 「重複入力」をクリックし、入力2重複シートを選択します。

重複する基線ベクトルの較差					
入力1シートの基線ベクトル番号を入力		緯度 = 36 00 48.6695			
		経度 = 138 30 39.9381			
基線 1 - 2					
基線ベクトル番号		DX	DY	DZ	セッション
2	重複値	-596.005	-808.128	-64.756	123A
6	採用値	-596.003	-808.120	-64.754	123B
較差 ( $\Delta X, \Delta Y, \Delta Z$ )		-0.002	-0.008	-0.002	
較差 ( $\Delta N, \Delta E, \Delta U$ )		0.001	0.007	-0.004	
許容範囲 ( $\Delta N, \Delta E, \Delta U$ )		0.020	0.020	0.030	

5-2 入力1シートの基線ベクトル番号を入力します。

## VI 既知点間入力

6-1 「既知点間入力」をクリックし、入力3閉合シートを選択します。

既知点間の楕円体高の閉合差					
301	~	303	5時間以上の観測データを使用した基線解析結果		
自	至	斜距離(m)	楕円体高比高(m)	楕円体高(m)	備考
301	1	13145.265	126.044	48.791	測地成果2011
				174.835	
1	2	7508.973	375.963	550.798	
2	303	7109.665	-489.810	60.988	
				60.948	測地成果2011
路線長		27763.903			
閉合差				0.040	
許容範囲				0.079	

6-2 環番号と入力1シートの基線ベクトル番号を入力します。

## VII 点検計算実行

メニューの「点検計算実行」をクリックして、点検計算を実行します。

## VIII GNSS水準ファイルへ転記入力

GNSS水準ファイルに本ファイルのデータを自動入力する場合はクリックして画面の案内に従って操作します。



## X ファイル保存

- ・メニュー画面の左上の丸いボタンをクリック→名前を付けて保存→「Excel バイナリブック」クリック→保存先選択・ファイル名入力→保存クリック

